

Ⅰ. 事業の基礎情報

|              |   |   |      |           |                |   |     |   |     |    |
|--------------|---|---|------|-----------|----------------|---|-----|---|-----|----|
| 事業名          |   | 個に応じた教育の充実  |      | 担当部・グループ名 | 教育委員会 学校経営グループ |   |     |   |     |    |
| 総合計画（基本計画）体系 | 個別目標  | (4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます   |      |           |                |   |     |   |     |    |
|              | こんなことに取り組みます  | 支援の必要な児童生徒の特別支援ファイルの作成と引継を確実にを行うシステムを構築します。また、教職員の特別支援教育への理解をより深めるとともに、指導力・実践力の向上をめざした研修を充実します。 |      |           |                |   |     |   |     |    |
|              | みんなで目指すまちづくり指標名   | 自分や周りのよさを認める子どもの割合  |      |           |                |   |     |   |     |    |
|              | 策定時の値   | 79  | 実績値  | -         | 実績値            | - | 実績値 | - | 目標値 | 85 |
|              | 2017  | 2018  | 2019 | 2020      | 2021           |   |     | % |     |    |
| 総合戦略         | <input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない |   |      | 予算事業名     | 教育指導事業         |   |     |   |     |    |

Ⅱ. 目指す姿

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| このアクションプランによって実現したい目指すべき市の姿 | ☆子どもたち一人一人のニーズに応じた支援を継続的・発展的に行うためのシステムが構築され、各園・各校による、個に応じた教育が充実している。 |
|-----------------------------|--|

Ⅲ. 課題

|              |  |
|--------------|--|
| 目指す姿実現に向けた課題 | ①特別支援ファイルの学校間の引継ぎをシステム化して確実にやっていくこと。<br>②中堅教員以降対象の特別支援教育研修会を開催し、特別支援教育への理解を深める必要がある。 |
|--------------|--|

【PLAN】

Ⅳ. 目指す姿の実現に向けた4年間の工程表・事業概要

| 事業年度      | 2018(平成30年度)   | 2019(平成31年度)   | 2020(平成32年度) | 2021(平成33年度) |    |
|-----------|--|--|--------------|--------------|----|
| 事業計画      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援ファイルの引き継ぎモデルの策定(県委託特別支援教育推進モデル事業)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援ファイル引き継ぎモデルの実行と修正</li> </ul> |              |              |    |
|           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通級担当、特別支援学級担当対象の特別支援教育研修会の計画と実施</li> <li>・特別支援CD、ミドル教員対象特別支援教育研修会の計画と実施</li> <li>・管理職対象特別支援研修会の計画と実施</li> <li>・特別支援研修会の整理</li> </ul> |  |              |              |    |
| 事業費総額(千円) | (当初) 20  | (見込) 40  | (見込) 50      | (見込) 50      |    |
| 財源内訳      | 一般財源   | 20   | 40           | 50           | 50 |
|           | 特定財源   | 0  | 0            | 0            | 0  |
| 特記事項      |  |  |              |              |    |

【DO】

| IIIと対応する課題 | V. 上半期の進捗状況<br>目標達成のために掲げた「課題解決に向けた取り組み」とその進捗状況                            |
|------------|--|
| ①          | ◆高校における特別支援ファイルの活用状況と問題点の把握  |
| 状況         | 高浜高校において市内中学校から引き継いだ特別支援ファイルの継続活用を試験的に実施中である。特に今のところ、高浜高校からは問題点は上がってきていない。 |
| ①          | ◆中・高間の支援情報の連絡会の実情と問題点の把握   |
| 状況         | 高浜高校と市内中学校で支援情報の連絡会を実施した。つながりを深め、必要に応じて支援情報のやりとりができる体制が整っている。              |
| ①          | ◆特別支援ファイルの引き継ぎモデルの策定   |
| 状況         | 幼保・小・中・高間の引き継ぎモデルはおおよそ確立できた。毎年引き継ぎモデルの周知を徹底して、確実に引き継がれるようにすることが課題である。      |
| ②          | ◆通級担当、特別支援学級担当対象の特別支援教育研修会の計画と実施   |
| 状況         | 通級担当者研修を年3回計画し、現在4月と7月の2回を実施した。特別支援学級担当教員向けにこども発達センターと共同開催で8月に実施した。        |



【CHECK】

| IIIと対応する課題 | VI. 上半期の取り組みから見えてきた課題<br>目指す姿実現に向け、これまでの取り組みから見えてきた課題                 |
|------------|---|
| ①          | 高浜高校が試験的活用の最中であり、高校の意見を大切にして改善を進める。                                   |
| ①          | 市外の多数の高校とどのように支援情報をつなげていくかが課題である。                                     |
| ①          | 特別支援ファイルの作成と引き継ぎについては、教員の入れ替わりが毎年行われる中で、引き継ぎモデルを毎年きちんと周知していくことが必要である。 |
| ②          | 時期や対象などについて、学校の負担にならないように研修を計画する。                                     |



【ACTION】

| IIIと対応する課題      | VII. 課題解決を踏まえた今後の具体的なアクション(案)<br>いつ・何を・どのように・どうする |  |
|-----------------|---|--|
| ①               | 平成30年度下半期   | 引き続き、高浜高校において特別支援ファイルの試験的活用を実施し、問題点などの洗い出しを行う。                     |
|                 | 平成31年度  | 高浜高校の特別支援ファイル活用状況とその問題点・効果をまとめ、活用方法や様式等の改善を行う。                     |
| ①               | 平成30年度下半期   | 中高間の支援情報の連絡会の在り方はH29年度に見直しをし、実施したが今年度も連絡会の在り方について会をもち、必要に応じて改善を行う。 |
|                 | 平成31年度  | 高浜高校以外の高校との支援情報の連絡会の在り方について検討する。                                   |
| ①               | 平成30年度下半期   | 学校教育法施行規則の一部改正があり、これに対応した引き継ぎシステムを検討する。                            |
|                 | 平成31年度  | 引き継ぎモデルは年度はじめの特別支援CD連絡会などで各校へ周知、各校では特別支援CDが各教員へ周知する。               |
| ②               | 平成30年度下半期   | 研修のまとめをし、次年度の研修の実施の時期と対象者を検討する。                                    |
|                 | 平成31年度  | 学校の負担を考慮して管理職向け特別支援研修を実施する。  |
| 平成31年度<br>事業費予算 | 40千円  |  |